



福島医発第2396号(地)

令和5年12月22日

各医師会長 殿

福岡県医師会

会長 蓮澤 浩明

(公印省略)

令和5年度母子保健講習会の開催について

さて、令和6年2月18日(日)に日本医師会館において標記講習会を別紙開催要綱により開催する旨、日本医師会より通知がありました。

詳細につきましては、別添開催要綱・プログラム及び日本医師会ホームページをご参照ください。

つきましては、貴会会員に対する周知方につきご高配賜りますようお願いいたします。

なお、参加希望者におかれましては、直接、下記の日本医師会ホームページより令和6年2月5日(月)までにお申込みください。

記

- ・日本医師会「令和5年度母子保健講習会」ホームページ

(URL : https://www.med.or.jp/doctor/work/traning_workshop/001463.html)

小郡三井医師会より

母子保健担当理事 橋本朋也
会長 島田昇二郎

日医発第1574号(健Ⅱ)
令和5年12月15日

都道府県医師会長 殿

日本医師会長
松 本 吉 郎
(公 印 省 略)

令和5年度母子保健講習会の開催について

母子保健活動につきましては、平素より貴職のご支援、ご協力を賜っておりますことに厚く御礼申し上げます。

本会では、地域医療における母子保健活動を円滑に実践するために必要な知識を修得していただくことを目的として、別添の開催要綱・プログラムにありますとおり、令和6年2月18日(日)に母子保健講習会を日本医師会館大講堂で開催いたしますので、ご案内申し上げます。

詳細につきましては、別添資料及び本会ホームページ(下記)をご参照いただき、貴会管下会員の先生方へのご周知を賜りたくお願い申し上げます。

なお、会員の先生方へは日医ニュース(1月5日号)を通じてご案内する予定です。

受講申込みはWebにて行いますが、都道府県医師会事務局については、別紙にお取りまとめのうえ、メールにて本会健康医療第二課宛にお送り下さい(定員数を超えた場合は事務局の参加をお断りすることございます)。別紙様式のファイルは文書管理システムの「お知らせ」に掲載いたします。

メール送付先: 健康医療第二課 k2@po.med.or.jp

申 込 締 切 : 令和6年2月5日(月)

記

(別 添)

- ・ 令和5年度母子保健講習会開催要綱・プログラム
- ・ 令和5年度母子保健講習会申込み(事務局用)

日本医師会「令和5年度母子保健講習会」ホームページ

https://www.med.or.jp/doctor/work/traning_workshop/001463.html

令和5年度母子保健講習会開催要綱

1. 趣 旨：少子化が進展する現状を踏まえ、地域医療の一環として行う母子保健活動を円滑に実践するために必要な知識を修得する。

2. 主 催：日本医師会

3. 開催日：令和6年2月18日（日）

4. 内 容：プログラムのとおり

5. 会 場：日本医師会館大講堂

〒113-8621 東京都文京区本駒込2-28-16

※新型コロナウイルス感染症の感染状況により、開催形式を変更させていただく場合もございますこと、予めお含みおきいただきますようお願い申し上げます。

6. 参加者：日本医師会・都道府県医師会・郡市区医師会会員

7. 申込締切：令和6年2月5日（月）

※定員（300名）になり次第終了

8. 参 加 費：無料

9. 申込方法：日本医師会ホームページより受講者が個別に申込み

日本医師会ホームページ「医師のみなさまへ」→「研修・ワークショップ・講習会を見る」→「令和5年度母子保健講習会」へアクセス

URL：https://www.med.or.jp/doctor/work/traning_workshop/001463.html

10. 研修証明について：日本医師会生涯教育制度の単位（CC0 その他3単位）は「全国医師会研修管理システム」に自動的に登録します。

11. 問合せ先：日本医師会健康医療第二課 03-3942-8181（直通）

メールアドレス k2@po.med.or.jp

令和5年度母子保健講習会プログラム

日時：令和6年2月18日(日)12:30～16:00

場所：日本医師会 大講堂

時 間 配 分	内 容
12:30	1. 開会 濱口 欣也（日本医師会常任理事）
12:30～12:35	2. 挨拶 松本 吉郎（日本医師会会長）
	3. シンポジウム
	<u>テーマ：産婦人科・小児科・精神科の顔の見える有機的な連携について</u>
	座長：福田 稠（日本医師会母子保健検討委員会委員長） 三牧 正和（日本医師会母子保健検討委員会副委員長）
12:35～13:10	1) 地域における連携体制の取り組みについて（仮題） ①産婦人科の立場から（仮題）（35分） 相良洋子（日本産婦人科医会常務理事/さがらレディスクリニック院長）
13:10～13:45	②小児科の立場から（仮題）（35分） 小枝達也（国立成育医療研究センター副院長、小児内科系専門診療部統括部長）
13:45～14:20	③精神科の立場から（仮題）（35分） 菊地紗耶（東北大学病院 精神科）
14:20～14:50	2) 母子保健情報のデジタル化について（仮題）（30分） 小林 徹（国立成育医療研究センター臨床研究センターデータサイエンス部門 部門長）
14:50～15:20	3) 「最近の母子保健行政の動き」（仮題）（30分） 木庭 愛（こども家庭庁成育局母子保健課長）
15:20～15:30	（休憩）（10分）
15:30～16:00	4. 討議（30分）
16:00	5. 閉会